



コロナ禍の変化を新しい時代への推進力に
市民参加のまちづくりに取り組んでまいります

白河市議会議長
すがわらしゅういち
菅原修一

結びに、新しい年が皆様にとって素晴らしい一年となりますことを心からご祈念申し上げます、新年のあいさつといたします。

このような中、市議会としては、各常任委員会において情報収集や調査を行い、議員が一致団結してコロナ禍における経済対策や医療体制の強化等に全力で取り組む決議を行ったところであります。

さて、地方自治体を取り巻く環境は、コロナ感染症の影響を受けた地域経済の再生はもとより、人口減少や少子高齢化対策、産業の振興、地域防災力の強化など、取り組むべき重要課題が山積しております。

また、小峰城の魅力を高める清水門復元事業に着手しており、近くを通る国道294号白河バイパスの「小峰大橋」や「南湖トンネル」の工事も順調です。加えて、ひがし保育園などの整備により待機児童が解消する見込みであり、最先端の設備と先進技術を駆使して野菜栽培を行う農業法人の誘致も決定しました。こうした中、大手経済出版社による「住みよさラ

今後、アフターコロナ社会における未来図をしっかりと描きながら、市民の皆様が愛着と誇りを感じ、次代を担う子どもたちが夢と希望を抱ける魅力あふれるまちづくりを進めてまいります。

この一年が、皆様にとりまして素晴らしい年になりますよう、心からご祈念申し上げます、年頭のあいさつといたします。

一方、このことは、国内生産への回帰や、人や企業の地方分散を生む好機であるとの見方もあります。

また、小峰城の魅力を高める清水門復元事業に着手しており、近くを通る国道294号白河バイパスの「小峰大橋」や「南湖トンネル」の工事も順調です。加えて、ひがし保育園などの整備により待機児童が解消する見込みであり、最先端の設備と先進技術を駆使して野菜栽培を行う農業法人の誘致も決定しました。こうした中、大手経済出版社による「住みよさラ

あけましておめでとうございます。市民の皆様には、輝かしい新年をお迎えのこととお慶び申し上げます。



白河市長
すがきかずお
鈴木和夫